

# 福野産サトイモ食べて

## 農カフエな びょう被害の生産者応援



料理教室で「里芋団子」を作る参加者ら

**南砺**

ひょう被害に遭った南砺市福野地域のサトイモ生産者を応援しようとして、同市福野軸屋の農カフエつなぐが25日、同所での地場産サトイモを使った料理教室を開き、参加者8人が「里芋団子」を作った。

農カフエ隣にある直売所「ふくの里」のスタッフが講師を務めた。参加者は、もちもちした食感のサトイモ「石川早生」をつぶし、片栗粉を混ぜて団子にし

た。

農カフエの石坂静江チーフマネージャーがサトイモの栄養や保存方法について説明。「里芋団子は直売所でも販売しており、秘伝のレシピ。ぜひ覚えてほしい」と話した。

教室は10月3日にもあり、ズイキを使った郷土料理などを紹介する。定員は8人。参加費500円で申し込みは農カフエで直接受け付ける。